令和 7 年度【第 7 号】 2025 年 10 月 1 日発行 八頭町役場商工観光室 (0858-72-0144)

頭町地域おこし協力隊活動の現場から

## しい暑さを乗り切った8月

厳

事態であったと記憶してい らなさは、 々な農家の方の頭を抱える 昨 今の異常な暑さと雨 果樹のみならず、 の

す。 する収穫となりました。 極めながら行うため時間を要 なり、その影響で収穫作業は出 思います。今年は果実も小玉に 悪影響があるのかもしれませ で、 は自身を守ろうとしますが、 荷出来る大きさの果実かを見 家それぞれの考え方があると れは大きなストレスとなるの してしまうのももしかしたら えていました。草刈りを過剰に 兎に角、 私の師匠も水をこまめに与 作物の育成や管理には、 カラカラの土になると、 灌水(かんすい)



もあるようです。

ば、 期に花を咲かせてしまうこと しまいます。また葉から出るホ は今年にとどまらなくなって 蔵養分も作れなくなり、 まうと、翌年に木が使いたい貯 まいます。 を阻害された葉は、 光合成機能や水分の蒸散活動 でしょう。 りするようですが、 いたのがハダニです。 し放題で彼らの天国だったの モン(花が咲くことを抑える そして少雨の影響で暴 彼らは流されたり窒息した も機能しなくなり変な時 早くに落葉をしてし 葉の汁液を吸われ、 落葉してし 今年は増殖 雨が降 悪影響 れ ħ て



暑さに負けず焼きそば焼き

でなんとか乗り切ることが たが、研修も私生活もお陰様 かせてもらいました。 さんと一緒に焼きそばも焼 っぱらってしまい記憶が若 らく楽しんでいたようで、 ・飛び飛びですが、集落の皆 とても厳しく暑い夏でし 酔

できました。

渡辺彌龍

隼駅まつり準備や関連イベ

す集落の納涼祭に ていただきました。 修以 外では自 私自身え .参加さ 分の 暮 せ

H H H H H H H 州び出し注意

第 15 回隼駅まつり& 隼駅まつりエンジョイ祭イラスト(1枚目)

## 待ちに待った隼駅まつり

者に「隼駅限定駅名版デザイ ブースを担当し、応援金の寄付 作成費用を除き、隼駅を守る会 フレゼントしました。 ン」のタオルとキーホルダー )活動資金になります。 いただいた応援金はグッズ まつりでは 枚目は隼駅まつりです。 「隼駅を守る会

になりました。 や応援の声もあり今後の活力 でも集まるライダーの姿、再会 ありましたが、 ント補助など目まぐるしくも 2枚目は8月の活動をまと 全国から雨の中

る中、合間で隊員の主催する夏 バイク関連イベントに集中す 返ってみれば夏らしいイベン 季学童の補助や隼駅での浴衣 た1ヶ月になりました。 トにも混ぜていただき充実 イベントなどにも参加し、振り 活動の大半を隼駅まつりや



8月の活動イラスト (2枚目)



隼プールあそび

りが終了したので、 り返り、 標!」と定めていた隼駅まつ ていきたいです。谷内口瑞月 着任してから「まず第1 今後の活動へ活かし 改めて振

## 満腹の夏

めたものです。

まった、「夏の探検基地」みた 年を対象にした「ナツキチ」と いなものです。 ろんな世界にふれるきっかけ り,ではなく、子どもたちがい いう夏休み事業の報告です。 になる場所。 ځ この夏、 ナツキチはただの " 預か ŧ ミヤッキーです!! 町内の小学校高学 小さな冒険がつ

名の満員御礼で夏休み22 間のナツキチがスタートロ 郡家、 八東、 船岡から計 10 日

した。 てくれるのが何よりの励みで 明日は何するだ?」と聞い

子同士で「また、 閉じました。 で!!」という言葉を聞いて 子ども同士や小学校が違う 来年会おう

力いっぱいたくさんのことを地域の人たちの協力を得て 経験しました。

物館、 陶芸、消防防災、議場見学、博 東川遊び、ブルーベリー狩り、 オビアート、遠見山遊び、八 環境大学、クッキング、

ちから「来年もするだか?」 リストを作って進めました。 ため各々のペースでチェック 学校により宿題量が全く違う ります。同じ八頭町でも学年や ゲームと暇をすることが難し 魚を取り、ボール遊び、ボード 買い物など。書ききれないほど いぐらいに楽しく遊びました。 の行事です。自由時間は水路で 毎日大変でしたが子どもた もちろん、毎日宿題時間もあ

参加者が全員出席で無事幕を そして、最終日にはナツキチ

外出の帰路

日々です。 来年に向 ち、保護者の皆様、この事業に 参加してくれた子ども ij て思考を凝ら

申し上げます。本当にあり 関わり協力してくださった皆 とうございました。 様にこの場をお借りして感謝

Instagram [@miyakki82] 活動詳細は で発信中

宮崎靖大

厳しい暑さも少し和らぎ、秋の入口が見えてきました。4月に加入の新入隊員も着任して約 担当課より 活動にも徐々に慣れてきたように感じます。特産のフルーツも酷暑を乗り越え店頭に並び始めてい ますが、隊員においても様々な環境の変化を乗り越え、 活動が実を結ぶことを祈っています。